防災計画 断水被害想定は

答　直後3.5万人、1ヶ月後も1.4万人

問 本町の防災計画想定の地震のうち、被害の大きいものはどのようなものか。

町長 沖縄本島南部スラブ内地震となり、被害想定や断水の想定人数は次の表のとおり。

被害想定	
全壊	1092棟
半壊	1784棟
予測死者数	13人
重症者	104人
軽症者	381人
停電	3757軒
断水人口	3万5103人

断水		
上水道	直後	3万5103人
	1週間後	3万2105人
	1ヶ月後	1万3759人
下水道	直後	7718人
	1週間後	2345人
	1ヶ月後	56人

問 生活被害として、水不足が深刻であると考える。雨水タンクの設置、地域の井戸の再活用のための補助を提案するがどうか。

災害時に備えた食品ストック（農林水産省）

町長 先進事例を参考に調査研究し、自主防災組織の補助などを活用して、整備を進めていきたい。

災害支援に女性視点を

問 国のガイドラインをもとに、男女共同参画の視点から避難所運営の基準づくりを求めるがどうか。

町長 ガイドラインを踏まえ、本町の避難所運営マニュアル策定に取り組む。

問 防災会議の女性比率3割以上を目指す中で、母子保健、子育て支援、女性福祉など、地域で専門的な役割を果たす方々がいる。女性の声が反映される仕組みを。

町長 那覇市の先進的な取り組みも参考に、委員の配置を検討していく。

学校給食の地産地消を

問 学校給食の地産地消について、金額ベースでどうなっているか。

教育長 副食費1.5億円のうち、0.9%（R6）である。

問 生産者の声を聞き、教育委員会、産業振興課、JAなどを含めた協議の場をしっかり持ってほしいがどうか。

町長 解決できそうな課題の部分に関して、可能な小さな形から話し合いの場を作る考えだ。

こんな質問もしました
- 商工会の機能強化への支援について問う